

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年3月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機原子炉建屋床ドレンサンプ(B)ポンプ(B)吐出逆止弁の「閉」固着について】 当社運転員が、5号機原子炉建屋床ドレンサンプ(B)ポンプ(A)を運転したところ、ポンプ(B)が逆回転していることを確認。 現場調査の結果、原因は、当該床ドレンサンプ(B)ポンプ(B)の吐出逆止弁が「閉」になるべきところ、「開」のままであったことから、ポンプ(A)の排水がポンプ(B)に回り込み、逆回転したものと推定。 なお、ポンプ(B)運転時は、ポンプ(B)吐出逆止弁は「開」となるため、正常に汲み上げが可能であることから運転への影響はない。 今後、当該床ドレンサンプ(B)ポンプ(B)の吐出逆止弁を点検補修予定。</p>	GⅢ	2月28日
2	<p>【地下水バイパス設備揚水井(A)サンドセパレータフランジ溶接部の割れと接続配管の腐食について】 協力企業作業員が、地下水バイパス設備揚水井(A)サンドセパレータ点検において、サンドセパレータ本体側フランジ溶接部の割れと、サンドセパレータの接続配管に腐食を確認。 なお、地下水の汲み上げには他の地下水バイパス揚水井が運用中であり、影響なし。 今後、サンドセパレータフランジ溶接部および、接続配管の腐食部を点検補修予定。</p>	GⅢ	3月1日
3	<p>【2号機原子炉建屋空調機用空気冷却器(6B)の冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が、東日本大震災以降使用していない2号機原子炉建屋空調設備の冷却器(6B)より冷媒回収作業を行ったところ、充填した量の冷媒が回収出来なかったことから冷媒が漏えいしていたことを確認。 原因は、1号機の水素爆発により飛散したガレキによって、当該冷却器が損傷し漏えいしたものと推定。 なお、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告予定。</p>	GⅢ	2月28日